

## 上田市内寺巡りレポート (4月29日)

連休の上田は「真田丸」人気で市街とお城付近は観光客で大賑わいである。それでも中心街を一步離れると、いつもながらの静かな城下町の佇まいが見られる。晴れたが冷たい風が吹き荒れた4月29日(金)、帰省してもめったに訪れる機会のない上田市内の寺を巡ってみた。まずは横町の日輪寺(曹洞宗)からスタートする。

日輪寺のすぐ隣の宗吽寺(そううんじ)は山門が風格を感じさせる。

【写真1】海堂山宗吽寺(真言宗)

北へ歩を進め旧鍛冶町へ入る。このあたりもお寺が多い地域である。唐風の山門が目立つ月窓寺には、上田藩出身で幕末の先覚者で兵学者として最近注目を集めている赤松小三郎の遺髪(いんぱい)の墓がある。

市内常磐城の丸山邸には赤松小三郎記念館がオープンしている。(土日祝日のみ)



【写真2】竜宮門風の山門が特徴の月窓寺(曹洞宗)



【写真3】月窓寺にある赤松小三郎の墓



次は同じく鍛冶町の本陽寺を訪ねる。こちらは上田藩主仙石氏の墓所があるが、上田城の三の丸御殿の玄関が移設されている。この話は同期の城歩きが好きな成澤文和君(4組)から聞いていた。幼稚園が

併設されているせいか落ち着かない。

【写真4】仙石家の墓所、本陽寺(日蓮宗)には上田城の三の丸御殿が移設



房山の国道を渡り太郎山の麓までやってくると、大輪寺の門が見えてくる。階段を上ると歴史を感じさせる楼門が見事な佇まいで現れる。真田昌幸夫人である山手殿(後の寒松院、大河ドラマでは高畑淳子が扮する)の墓所としても有名である。本堂の大棟には六文銭が輝いて見える。

【写真5】寒松院の墓所、大輪寺(曹洞宗)、華麗な楼門形式の山門



【写真6】大輪寺、寒松院の墓所



大輪寺の墓所から暫し上田市街を眺めた後、今度は下り坂を馬場町の方へ降りていく。途中、浄楽寺に立ち寄

る。ここにはノーベル賞を逃した山極勝三郎博士の生誕 150 年を記念した碑がある。昨年秋にはこの寺で勝三郎顕彰会による講演会が開かれたという。講師には勝三郎の縁につながる山極壽一氏(京都大学総長)が招かれている。

現在、山極博士の半生を描いた映画が製作中で、上田でもロケがあったと聞いた。

【写真 7】 浄楽寺(浄土真宗)にある山極勝三郎の碑



新緑に薫る季節、上田市内の名刹を巡り、「真田丸」人気の背景にある上田の歴史に思いをはせた半日であった。寺社仏閣や歴史に興味のある方は一度は訪れてみたら如何でしょう。

(2016年5月1日、上原昇(2組)記)